

イデックスオイルレポート ~For a week~

2021/4/9作成 (株)新出光

【概況】<上値重い展開か>

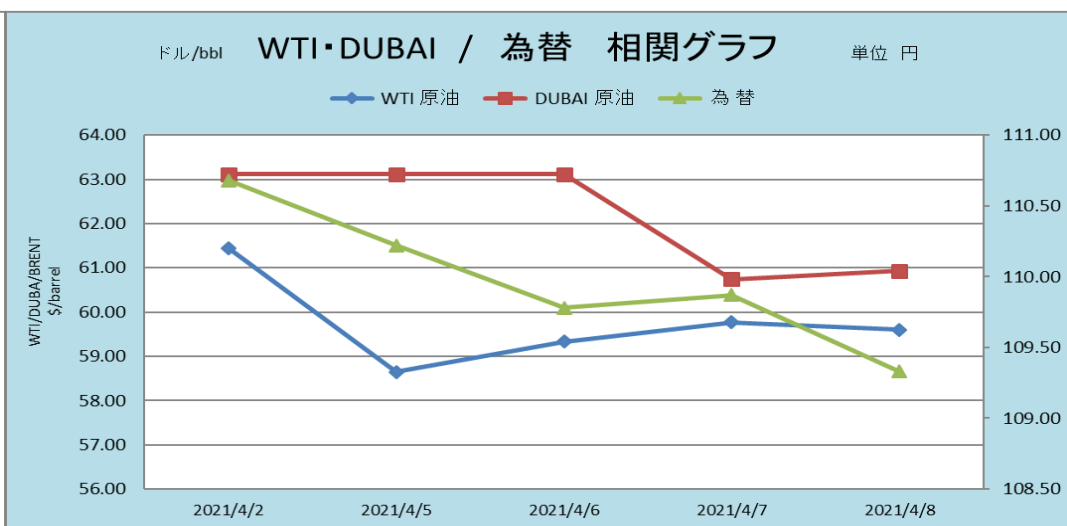
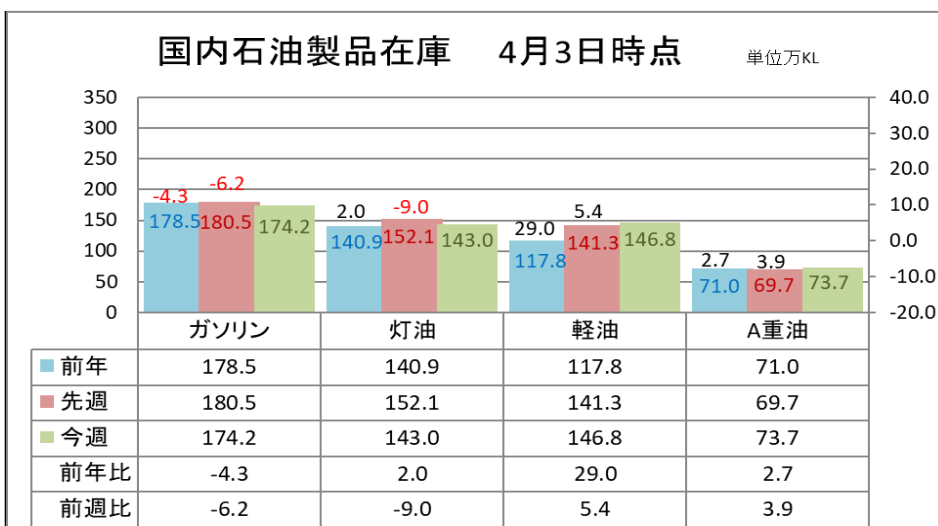
●5日、OPECプラスは1日に開いた閣僚級会合で合意した、原油価格維持のための段階的な協調減産規模の縮小措置に対し、1日の市場は世界経済の回復を視野に入れた方針として前向きに受け止め、原油の買いで反応しました。しかし、連休明けは、新型コロナウイルス対策で制限措置を余儀なくされている欧州での需要先行き懸念が再燃する中、相場の先高期待を失わせる決定との見方が広がり、売り材料視されました。OPEC加盟国で協調減産を免除されているイランによる供給拡大への警戒感も相場の重しとなっています。

●6日、3月の中国サービス業購買担当者景況指数(PMI)は昨年12月以来の高水準となりました。国際通貨基金(IMF)が公表した最新の世界経済見通しでは今年の世界全体の成長率が6.0%に上方修正されました。一連の堅調な経済指標を受け、景気回復期待からの買いが先行しました。

●7日、米エネルギー情報局(EIA)が発表した2日までの1週間の米原油在庫は前週比350万バレル減と、減少幅は市場予想(140万バレル減)の2倍以上となったようです。一方、ガソリン在庫は20万バレル減の予想に対し、400万バレル増の大幅な積み増しとなり、ガソリンの供給過剰懸念が原油の需給引き締め期待を相殺する格好となりました。朝方から台頭していた利益確定の売りも重なり、相場は下げ足を速め、一時WTI原油で58.12ドルまで下落しました。

●8日、7日発表の米エネルギー情報局(EIA)週報で、ガソリン在庫が大幅増加したことが響き、原油が売られました。夏季ドライブスーズンを見据え、製油所の稼働率が上昇したことが要因とみられるものの、エネルギー商品需要は新型コロナウイルスの流行前に比べて依然として弱いようだとする慎重な見方が広がったようです。また、ロシアの産油量が4月に入って増加傾向にあることや、米国とイランの交渉再開で、経済制裁の解除後にはイラン産原油が国際市場に流入する可能性があるとの警戒感も原油の売りを後押ししています。

4月9日 | 17:00現在 | WTI原油 | 59.37ドル | 為替 1ドル | 109.52円



	次回元売変動予測	
	4/15~	元売変動予測
ガソリン	➡	-1.5~-1.0
灯油	➡	-1.5~-1.0
軽油	➡	-1.5~-1.0
A重油	➡	-1.5~-1.0
LSA	➡	-1.5~-1.0

※現段階の原油コストによる予想です。

【製品卸価格】<月間リンク玉の販売の本格化>

《今週》今週の元売り仕切り改定は「+1.0円」の値上げでした。今週は先高傾向でしたので、月間リンクの玉の販売も消極的で仕切りが上がった後の販売を目論んでいるようでした。改定後の市況はほとんど値上げが浸透せず、月間リンク玉の台頭で横ばいか小幅下落での価格推移となっています。ただ、4月からの月間リンク玉のフォーミュラ変更の影響がこれからでてくるのか注目したいところです。

《4月10日以降》来週の元売り改定は現状の原油コストで「-1.5~-1.0円」の値下げ予測です。原油相場の上値が重く、相場も以前の水準まで上昇することが直近では厳しそうだと予測や次回の改定が値下げ改定予測になることから、早くも月間リンク玉の販売が表面化してきています。油槽所でも売り攻勢がかけられてきていますので、今後も徐々に市況は下がっていくことが考えられます。買い手としては仕切りが下がってから仕入れしようと考えますので、週末でのオーダーはそれほど多くないですが、全国的に新型コロナの再拡大や政府による施策によって燃料需要が今後減退する懸念もあり、買い控える動きが広がっていることも原因としては考えられるようです。

【トピック】<製油所稼働状況と元売り市中調達>

陸上市場において出光興産が月内で1,300KL程度の市中調達をしており、玉の吸い上げが行われています。また海上市場でもENEOSが同様に月内で7,500KL程度調達を行っています。出光興産の市中調達はマーケットチェックや同業者販売枠の吸い上げを行い、市況の改善を目的としているものであると考えられていますが、海上でのENEOSの市中調達は、ショートカバー(足りない分の補填)として、買っているようだと考える市場関係者が多く見受けられます。ENEOSは現在、仙台、千葉、和歌山、水島B工場、大分の製油所で稼働を停止しており、在庫玉での出荷はしているようですが、安定供給を基本とする石油元売りとしての使命を果たすためにも在庫の確保をしているのではないかと見られています。元売り玉向けの販売には月間リンク玉が充てられているようですので、この玉の吸い上げにより、月の後半での市況の改善を期待したいところです。